

前回定例会以降の動き

平成31年3月6日
新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

- 2月12日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・発電所構内（屋外）におけるけが人の発生（1月22日）について、概要説明を受け、現地の作業状況を確認しました。
- ・電源関係設備のうち、開閉所及び安全対策（代替交流電源）設備の説明を受け、設備や給電方法を確認しました。

2 原子力災害を想定した災害対策本部机上訓練の実施について

2月6日、原子力災害を想定した県災害対策本部机上訓練を実施しました。

（詳細は添付資料参照）

[訓練目的]

- ・県の原子力災害対策本部組織としての能力向上
- ・広域避難計画（案）の実効性確認

[訓練参加者]

約160名

（新潟県、市町村、自衛隊、第九管区海上保安本部、新潟地方气象台、東京電力HD株）

[訓練想定]

- ・柏崎市、刈羽村等で震度6強の地震が発生し、運転中の柏崎刈羽原子力発電所6号機において、原子炉が自動停止。その後、非常時に原子炉を冷却する装置の一部が機能しなくなり、施設敷地緊急事態となる。
- ・その後、非常時に原子炉を冷却する機能がすべて失われ、全面緊急事態となる。

原子力災害を想定した災害対策本部机上訓練を実施します。

県災害対策本部の組織能力向上を図るため、下記のとおり原子力災害を想定した本部要員机上訓練を実施します。

記

1 日時

平成31年2月6日（水）午前10時から午後2時まで

2 訓練概要

(1) 会場

県庁西回廊2階 危機管理センター（大会議室、中会議室、災害対策本部会議室）

(2) 訓練参加者 約160名

新潟県、市町村、自衛隊、第九管区海上保安本部、新潟地方気象台、東京電力ホールディングス株式会社

(3) 内容

- 原子力災害発生時における災害対策本部機能の組織としての能力向上を図り、机上訓練を通じて、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態における災害対策本部各班の業務内容を確認し、広域避難計画の避難調整等の実効性を確認する。（当日の流れは別紙参照）

(4) その他

- 訓練終了後、防災局長のぶら下がり取材を予定しています。
- 大雨や洪水警報が発表された場合等、災害発生が予想される場合は訓練を中止する場合があります。

本件についてのお問い合わせ先
防災局原子力安全広報監 伊藤
(直通) 025-282-1690 (内線) 6451

別紙 当日のタイムスケジュール

10:00 事務局から初期情報（原子力事業者から10条通報など）及び施設敷地緊急事態における防護措置の実施方針を説明。

10:10～12:00 訓練【施設敷地緊急事態における対応】

- ①柏崎刈羽原発のPAZ（約5キロ圏内）要避難者※の避難の実施
※社会福祉施設入所者、生徒児童、在宅避難行動要支援者 等
- ②PAZ一般住民の避難準備
- ③UPZ（約30キロ圏内）一般住民の屋内退避準備
- ④安定ヨウ素剤配布・準備
- ⑤スクリーニング開設準備
- ⑥地震災害に伴う対応

13:00～13:15 災害対策本部会議（TV会議）

- ・原子力事業者から15条通報があり、県、市町村、関係機関が全面緊急事態における対応を確認

13:15～14:00 訓練【全面緊急事態における対応】

- ①PAZ一般住民の避難の実施
- ②UPZ一般住民の屋内退避の実施
- ③安定ヨウ素剤配布・準備
- ④スクリーニング開設準備
- ⑤地震災害に伴う対応

<視察予定>

10:00～10:25頃 花角知事

13:00～14:00 避難委員会委員

- ・訓練の進行によって、時間が前後する場合があります。
- ・10時から14時まで公開とし、取材エリアを区切りますので、腕章等の着用をお願いします。